

平成26年度
公共施設再編計画
市民ワークショップ

鎌倉市における 公共施設再編に向けた取組

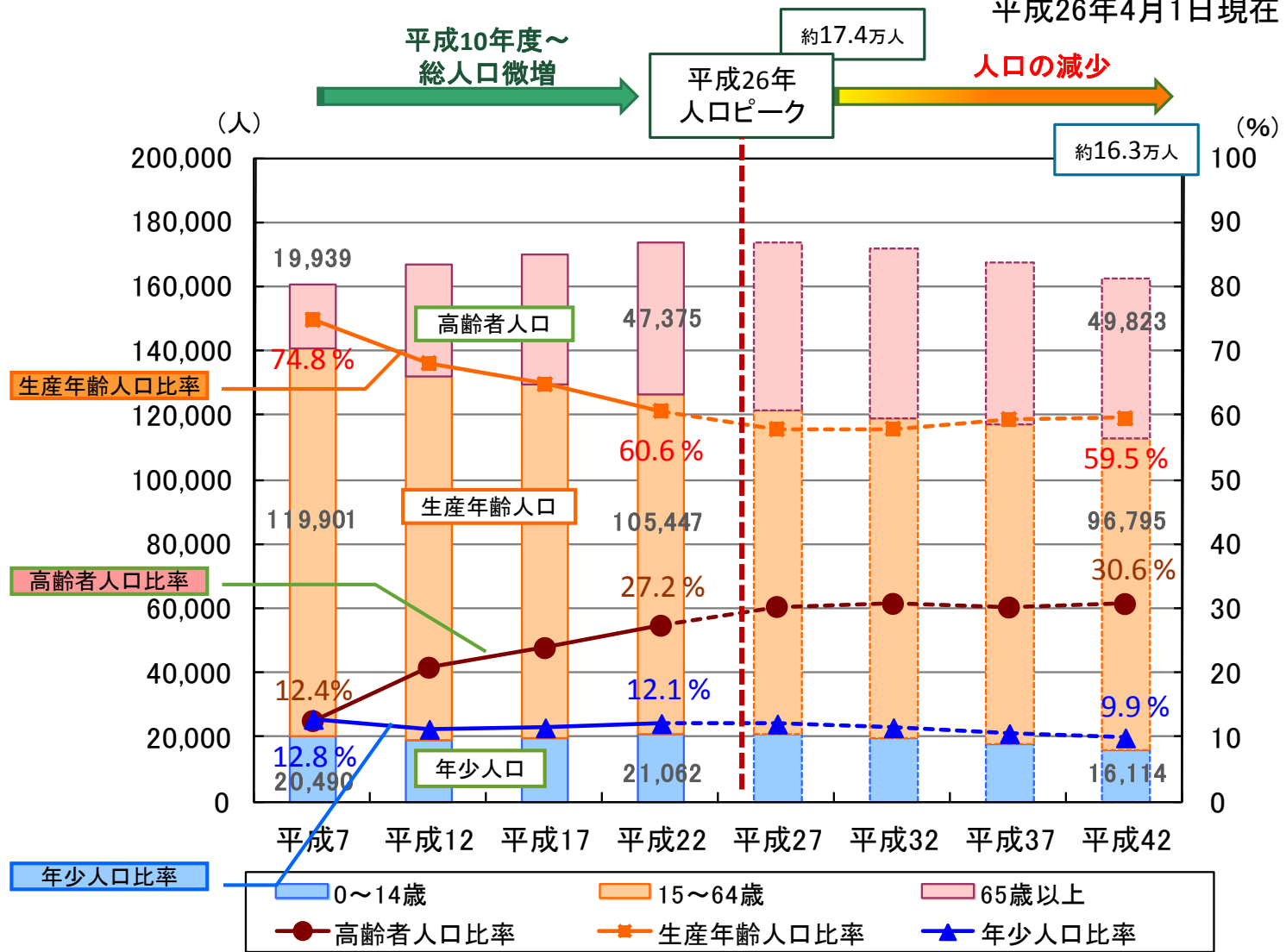
鎌倉市経営企画部
経営企画課公共施設再編推進担当

鎌倉市の公共施設更新問題

- ① 将来の人口減少と少子高齢化
- ② 公共施設の老朽化
- ③ 公共建築の更新費用の将来負担予測

① 将来の人口減少と少子高齢化

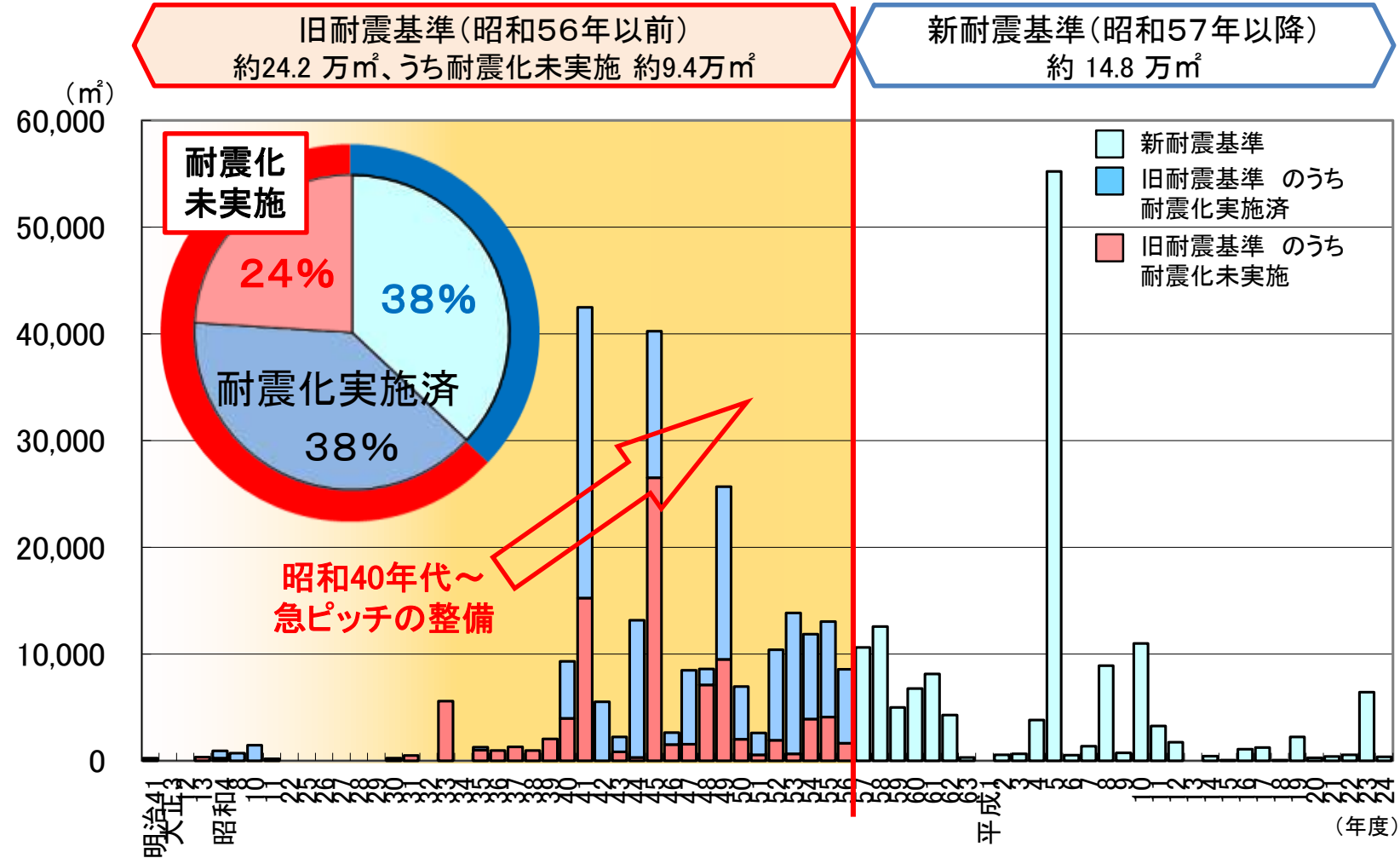
平成26年4月1日現在 173,288人



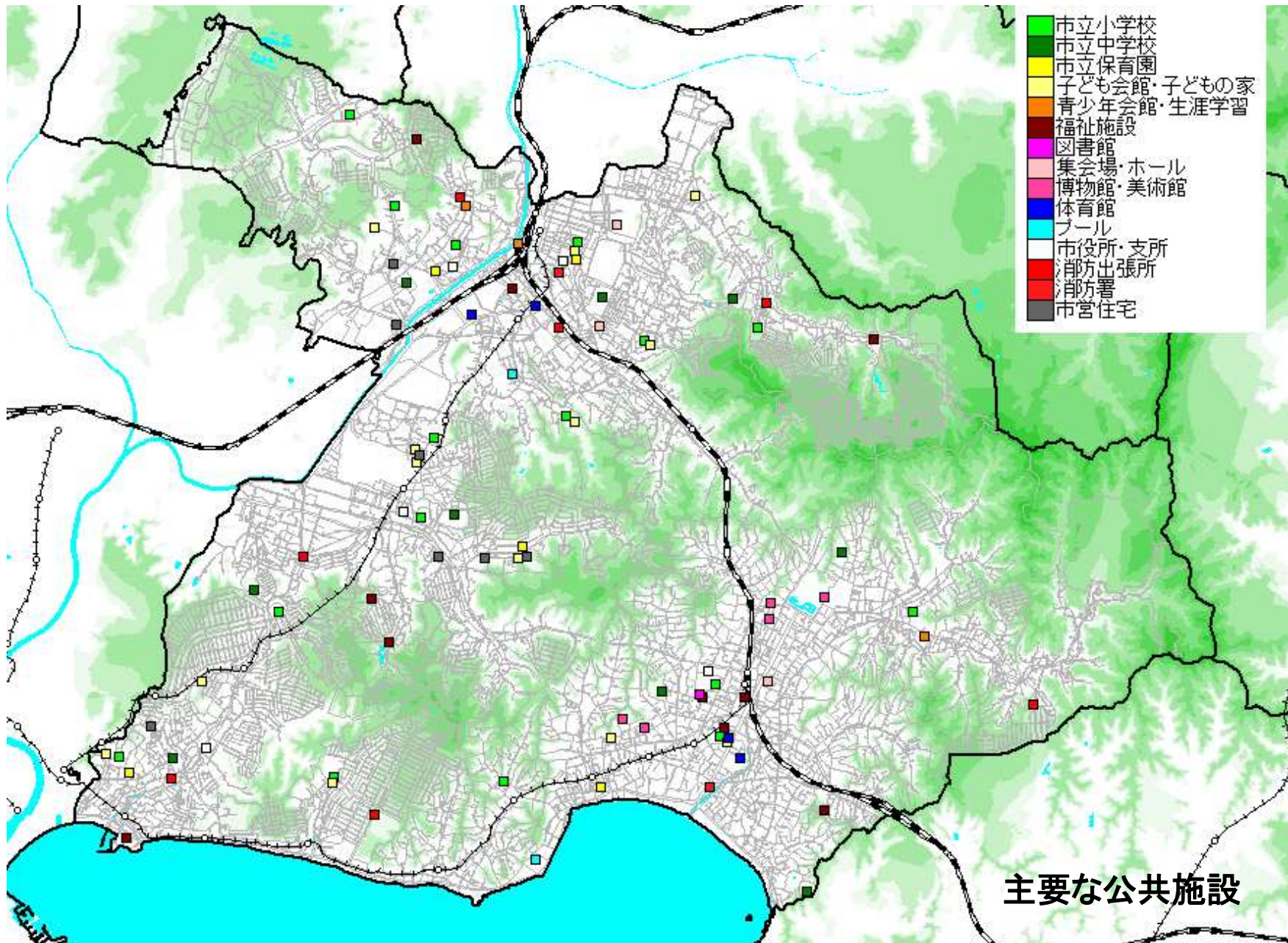
※出典：鎌倉市公共施設再編計画基本方針

②公共施設の老朽化

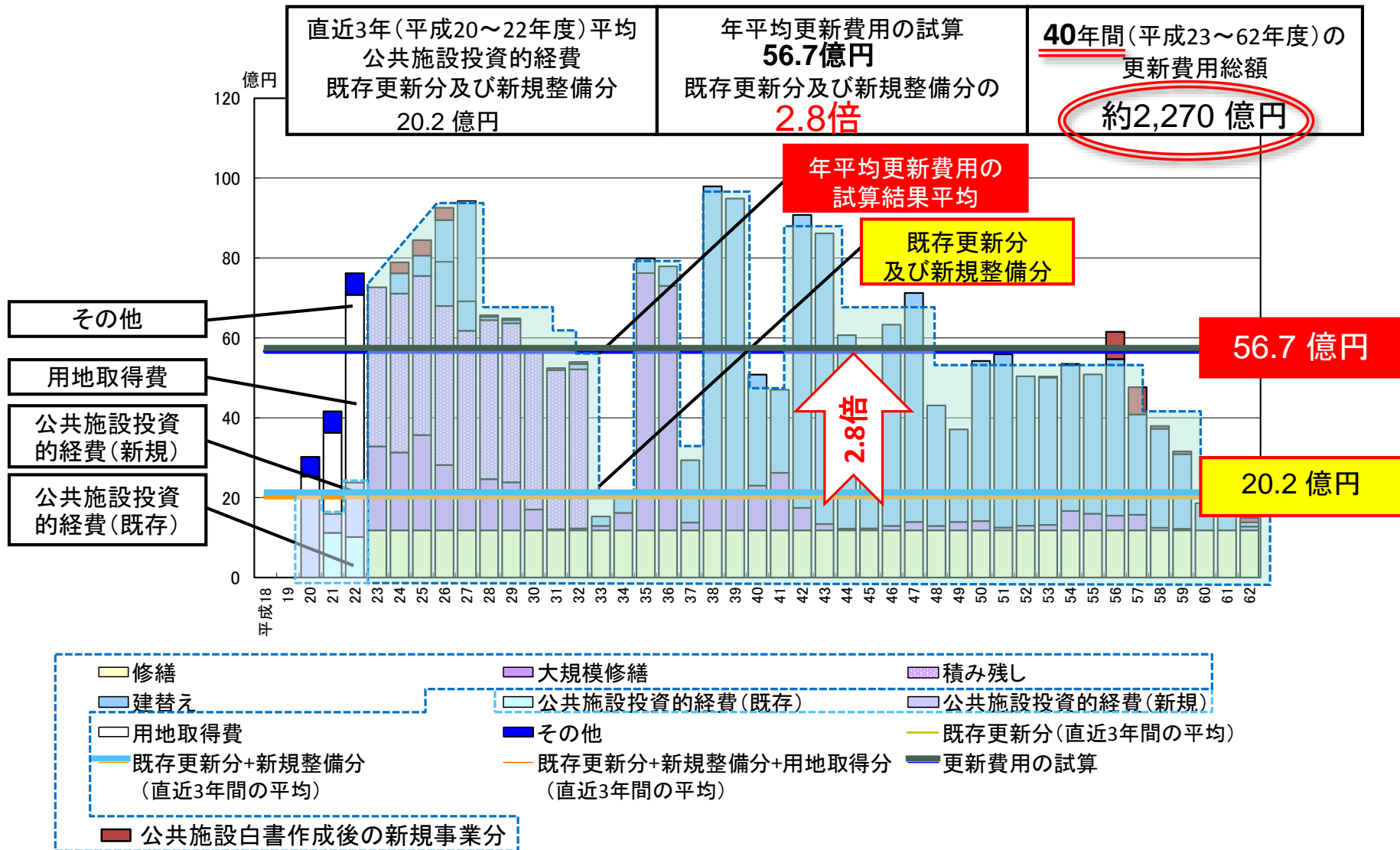
総床面積 39万㎡(2.23㎡/人)



※鎌倉市公共施設白書を時点修正



③ 公共建築の更新費用の将来負担予測



※出典: 鎌倉市公共施設再編計画基本方針

鎌倉市の公共施設再編の取組

- ① 主な取組経緯
- ② 鎌倉市公共施設再編計画基本方針の概要
- ③ 平成26年2月開催の市民ワークショップの概要

主な取組経緯

		主な取組
平成24年	3月	鎌倉市公共施設白書
	4月	経営企画部経営企画課公共施設再編推進担当設置
	10月	鎌倉市公共施設再編計画策定委員会設置
	11月	市民アンケート実施(10月 利用者アンケート実施)
平成25年	1月	鎌倉市公共施設再編計画基本方針(案)パブリックコメント
	2月	「公共施設のあり方を考えるシンポジウム」開催
	4月	「 鎌倉市公共施設再編計画基本方針 」策定
	10月	「マンガで分かる公共施設再編の取組」発行
	11月	庁内プロジェクトチームにおける検討開始
平成26年	2月	鎌倉市公共施設再編計画市民ワークショップ開催(2/1・2/8)
	3月	市民webアンケート実施
	6月	鎌倉市公共施設再編計画市民ワークショップ開催(6/21・6/28)

公共施設再編計画策定委員会は平成24年10月から平成26年3月までに9回開催

★平成26年度中に公共施設再編計画を策定予定

公共施設マネジメントの3原則

●財政負担の小さな公共サービスの実現

- 施設と機能の分離
- 公設、公営の発想転換

●財政と連動した適切な施設保全

- 総合的視点による優先度に基づいた大規模改修及び建て替え
- 効率的、効果的な施設の管理運営

●市民が誇れる施設のあり方

- 歴史、文化、景観への配慮
- 市民力を活かした施設の管理運営

5つの取組方針(アクションプラン)1

1 中長期的な視点からのマネジメントの実現とロードマップに沿った着実な推進

- 既に整備に向け計画的な取組みが進められているものを除き、**新規単独施設整備**は行わない。
- 既に進行中の新規施設整備事業についても、可能な限り、基本方針の考え方に沿ったものとする。
- 今後の財政推計や、人口減少と少子高齢化を踏まえ、市が保有する施設にかかる**トータルコストを約50%削減**する。(長寿命化、維持管理コストの削減、床面積の縮減、PPP等の活用、受益者負担の見直し等による)
- 公共施設再編計画ロードマップに沿った、適切な事業の運営管理を行う。

5つの取組方針(アクションプラン)2

2 施設と機能の分離による必要な公共サービスの再構築

- **公共施設を伴わない公共サービスの提供**を図る。
- 他用途への転換、施設の複合化・集約化、廃止・統廃合、IT化等含めて**施設・機能を見直し**、総合的な改善による効率化を図る。
- 遊休・余剰資産の売却等による再編に必要な事業費の捻出も視野に入れた有効活用を図る。
- 施設の更新(大規模改修・建て替え)の際には、**複合化・集約化等を原則**とする。
- 特に公共施設の約40%を占める学校施設を拠点とし、**学校の複合化を検討**する。
- 津波浸水予測エリア内に立地する施設については、エリア外の施設との複合化や機能移転等の検討を進めるとともに、津波発生時の避難対策の充実を図る。

5つの取組方針(アクションプラン)3~5

3 市民・民間事業者との協働

- ・民間事業者の様々な資金やノウハウを活用した手法の最適な組み合わせにより、施設の整備、更新、維持管理、運営を より効率的かつ効果的に行う。
- ・鎌倉の市民力を活かした管理運営方法の見直しなどを図る。
- ・公共施設にかかる問題意識の共有化を図り、市民と協働で課題解決に取り組む。

4 全庁的な問題意識の共有と体制整備

5 地域ごとの施設のあり方の見直し

- ・現在の5つの行政地域にこだわらない、公共施設の適切な配置を行う。
- ・将来的には、広域対応施設について、施設の相互利用や共同運用、サービスの連携、役割分担等により効率化を図る。



平成26年2月1日(土)・2月8日(土)
参加者:36名の市民の方



平成26年2月開催市民ワークショップ

各班の再編提案の概要

班	コンセプト	再編の考え方
1	学校を活用しよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校は適度に分散しており活用しやすい
2	私も混ぜて	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもからお年寄りまで使える施設・交流する施設 ● 自分にとって気持ちの良いまち
3	世代間交流と利便性	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスを減らさず、老朽化した施設を減らす
4	生活密着バランス タウン大船	<ul style="list-style-type: none"> ● 玉縄地域と大船地域のバランスを考慮 ● 子育て関係をまとめる ● 関連サービスをまとめ、相乗効果を図る ● 駅よりも住まいの近くにサービス配置 ● 趣味の活動は遠くてもOK
5	ふれあいの街大船	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもからお年寄りまでふれ合いのチャンスを増やす ● 収益を考慮した料金設定、コンパクト化
6	鎌倉に自信を取り戻す	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政センターを核に機能拡充(機能統合) ● 子どもとお年寄りにやさしい、高齢者に配慮したサービス ● 図書館(蔵書)を駅近くに集中 ● 跡地等の有効活用、ネーミングライツで財源確保